

授業科目名・形態	成人・老年看護学実習Ⅰ 実習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	渡邊知子・小畑千春	実務経験の有無	有	開講期	3年前期・後期

【授業の主題】

成人期・老年期の発達課題や特徴および慢性疾患をもち疾病のコントロールを必要とする対象とその家族の健康問題を総合的に理解する。さらに看護過程の展開を通して、対象の発達段階と健康レベルに応じた個別的な看護の実践方法を学び、看護の基本的な知識、技術、態度を修得する。

【到達目標】

1. 疾病のコントロールを必要とする対象の発達課題や身体的・心理的・社会的特徴、疾病の受容過程を理解する。
2. 慢性疾患をもつ対象が疾病のコントロールをしながら、セルフケア能力を患者自身が高め療養生活や社会生活での生活障害を緩和し、自立した社会生活を送るための援助ができる。
3. 慢性疾患をもつ対象へ看護過程の展開を通して個別的な援助ができる。

【授業計画・内容】

慢性期または回復期、もしくは、慢性疾患をもち医療施設に入院治療をうける患者を受持ち、看護過程の展開により看護援助を行う。(詳細は成人老年看護学実習Ⅰの実習要項を参照)

実習場所：大館市立総合病院

【授業実施方法】

臨地実習

【授業準備】

1. 実習前（2年次春季休業中）に提示された事前学習課題に取り組むこと。
2. 既習の人体の構造と機能、病態治療学、看護技術について復習をおこなうこと。

【主な関連する科目】

人体の構造と機能、臨床薬理学、病態治療学Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ、看護過程論、成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、成人看護学実習Ⅱ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、

【教科書等】

NICE 成人看護学 成人看護技術（南江堂）、上記関連する科目で使用した教科書、レジメ、資料

【参考文献】

図書館の蔵書を中心に必要な資料を選択すること

【成績評価方法】

実習記録（50%）、実習状況や実習態度およびカンファレンス参加態度（50%）等による総合的評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

専門医療施設において、急性期から慢性期、回復期での臨床経験を積み、患者の健康障害に加え、生活障害に必要な看護援助を行ってきました。二次的障害を予防し、治療効果を十分に得るための看護援助に加え、生活の場に移行することを視野に入れた看護援助を学ぶ機会にしたいと思います。

【学生へのメッセージ】

慢性期または回復期や慢性疾患をもち医療施設に入院治療をうける患者と直接関わることで、健康障害によって生じた生活障害の実際を知り、看護師が担う機能と役割について学ぶ機会としてください。そのためにも、事前学習に取り組み、疑問は教員や実習指導者に相談してください。